

# 輝<明日>へ

公益財団法人

下野奨学会の組織・活動概要

2025年7月発行



公益財団法人 下野奨学会



## 皆様のご協力をお願いします

公益財団法人 下野奨学会 理事長 若菜 英晴



下野奨学会は、学業が優秀なうえ心身ともに健全でありながら経済的支援が必要な栃木県内の高校・高専生に修学資金を援助し、社会に有用な人材を育成することを目的としています。

下野奨学会の設立は1958年。下野新聞の紙齢(発行号数)が2万5000号に到達したのを記念し、下野新聞社が栃木県民・読者や県内各界に協力を呼び掛けて奨学会をスタートさせました。

62年に財団法人化し、74年には一般奨学金に加え、交通遺児奨学金を設置しました。奨学金も貸与から全額給付に切り替えるとともに、給付対象枠を拡大。こうした実績が行政庁(栃木県)に認められ、2011年9月には公益財団法人に移行できました。

14年4月、特別奨学金を創設、奨学金給付事業がさらに拡充されました。特別奨学金には現在、3つの基金が設置されています。

23年1月には創設65周年を迎えました。下野奨学会が修学資金を援助した奨学生は25年4月現在で1053人に上り、奨学生OB、OGは国内外で立派に活躍されています。また、25年度入学生より高専生(1~3年生)も給付対象としました。

奨学生に給付する奨学金の財源はすべて、皆様からお預かりする寄付金で賄われております。寄付は個人のほか、企業や団体などから、幅広く浄財を寄せていただいております。皆様のご高配に心より感謝申し上げます。

公益法人は法律によって事業や法人運営、財務会計が細部まで厳しく規制される一方で、寄付者には税制上の優遇措置が認められています。

皆様方には下野奨学会の設立目的と、長年にわたる実績をご理解いただき、浄財をご寄付いただけますよう、ご協力をお願い申し上げます。

### 証書授与式 (2025年4月3日、宇都宮東武ホテルグランデ)



下野奨学生資格証書を受け取る奨学生



奨学生を激励する若菜英晴理事長

## 公益財団法人 下野奨学会の事業概要

|         |  |
|---------|--|
| 奨学金の種類  | ① 一般奨学金(生活困窮家庭の生徒)<br>② 交通遺児奨学金(交通事故で遺児となった生徒。給付条件は一般奨学金と同じ)<br>③ 特別奨学金(一般奨学金と交通遺児奨学金に上乘せする一時金)  |
| 対象者数    | 栃木県内の公私立高校及び国立高等専門学校1～3年に在籍する生徒  |
| 募集人数    | 毎年度20人程度   |
| 奨学金の給付額 | ① 高校・高専在学の3年間、1人月額22,000円を給付<br>② 高校・高専入学時に入学祝い金と入学準備金を1人計150,000円給付<br>③ 高校卒業祝い金、高専3年次終了祝い金を1人50,000円給付   |
| 返済の有無   | 全額給付型奨学金で、返済は不要  |
| 応募資格    | 下記の条件をすべて満たすことが必要。<br>(1) 栃木県内の中学に在籍し、県内高校・高専への進学を希望する生徒 (2) 心身共に健康で高い志があり、在籍中学校長が学業優秀と認め推薦する生徒 (3) 高校・高専の学費支払いが困難で、世帯年収が420万円以下である (4) 他奨学会と併願していない |
| 応募期間    | 毎年9月1日から12月中旬  |
| 選考方法    | 毎年2月、下野奨学会役員と評議員、外部有識者による下野奨学生選考委員会で決定   |
| 奨学生の義務  | (1) 高校・高専での毎年度の学業成績表の提出<br>(2) 生活状況等の報告 (3) 所定の書類や作文の提出  |

## 公益財団法人 下野奨学会の評議員・役員

### 評議員



吉田 良二

栃木県済生会宇都宮病院  
名誉院長



烏田 好正

文星芸術大学  
常務理事兼事務局長



柳田 京子

前栃木県地域婦人連絡協議会  
会長



和田佐英子

宇都宮共和大学教授



仲山 信之

(株)エフエム栃木  
代表取締役社長



飯村 慎一

光陽エンジニアリング(株)  
代表取締役会長



関根 文夫

(株)下野新聞社  
取締役会長



町田 明久

(株)下野新聞社  
常務取締役

### 役員



理事長  
若菜 英晴

(株)下野新聞社  
代表取締役社長



理事  
河野 遵

惣誉酒造(株)  
代表取締役社長



常務理事  
前田 正典

前田不動産(株)  
代表取締役



理事  
小池 正巳

元栃木県中学校  
校長会会長



常務理事  
高島 信雄

(株)下野新聞社  
常務取締役



監事  
須藤揮一郎

(株)とちぎテレビ  
代表取締役社長



理事  
村田 幽香

書家



監事  
藤原 誠

(株)下野新聞社  
常勤監査役

(2025年6月現在)

## 2025年3月に卒業した下野奨学生23人の卒業文集「さくら」第29号から

### 「私の高校生活と今後」

県央地区県立高校  
卒業生(男子)

先日、私は高校を卒業しました。この春からは企業に就職します。幼い頃から憧れてきた会社で働くことに、とても嬉しい気持ちと不安な気持ちで胸いっぱいです。

振り返ると私の高校生活は楽しいことよりもつらいことの方が多かったと感じます。ですが、そんなつらいこともクラスメイトとともに乗り越えてきた3年間でした。1、2年時は部活や資格取得に励み、日々多忙を極めていました。そして、3年になり今まで漠然と考えてきた進路を、明確に決めなくてはいけない時期になりました。

入学当初は大学進学をしようと思っていましたが、時間が経つにつれ、大学進学への思いが弱まっていたのと、兄弟が多く、下の兄弟を養っていきたいという理由で、最終的に就職することに決めました。

第一志望も決まり、将来に向かって頑張るぞという気持ちで、積極的に先生方と面接練習に取り組みました。しかし、本番では練習してきたことを全く発揮できず、結果は不合格でした。今まで試験に落ちるという経験があまりなかったこともあり、最初は人生で一番といていいほど落ち込みました。今までの自分の努力だったが、完全否定される感覚で学校にも行きたくない気持ちが続きました。ですが、そんな自分を親や友達が励ましてくれ、「人生はまだある、こんなところで終わらたくない」、「今までの努力は無駄なんかじゃない」という気持ちが強くなっていき、塞がりきっていた自分を立ち直すことができました。そして、第一志望の経験を糧にして、無事第二志望に受かることができました。

最後に、いろいろなことがあった3年間でしたが、今の自分があるのは下野奨学会の皆さまのおかげです。多大なるご支援をありがとうございました。これからも夢に向かって頑張っていきたいと思います。



## 第52期奨学生

ジャズピアニスト

**相馬 ゆかり** さん

[そうま・ゆかり]

1993年、那須塩原市生まれ。3歳からエレクトーン、11歳からクラシックピアノを習う。西那須野中学校から矢板東高校へ進学。JEF地区大会金賞受賞、YECエリアファイナル出場。12年に洗足学園音楽大学電子オルガンコースへ入学し、翌年ジャズコースに編入。現在、東京を中心に演奏やマニピュレーター、ピアノ講師として活動中。



演奏する相馬さん

## 小さなころからの音楽家の夢 実現に向けて粘り強く努力

小さいころから将来は絶対にプロの音楽家になるんだと心に決めて、エレクトーンやピアノを習っていました。高校は普通科でしたが、高校時代もレッスンに宇都宮まで通いました。家の状況が厳しく奨学金は本当にありがたかったです。進路を決める際、音楽大学への進学を迷い、挫折しそうになりましたが、どうしてもやりたいという思いが勝りました。

ジャズに出合ったのは20歳のころ。ジャズは「正解はないが正解がある」ところが魅力です。電子オルガンから転科してジャズピアノの道を選びました。卒業後は演奏活動のかたわら、ピアノを教え、コンサートをサポートするマニピュレーターの仕事もしています。人との出会いに恵まれて随分助けていただきました。今も試行錯誤の連続ですが、若い人たちにはやりたいことがあるのならぜひ頑張ってもらいたいと思います。奨学会には助けていただきましたので、音楽でお返しできることがあればぜひお手伝いさせていただきます。



## 第57期奨学生

臨床検査技師として  
民間病院に勤務

**古池 明日香** さん

[こいけ・あすか]

1998年、下野市生まれ。下野市立南河内第二中学校から県立小山高校へ進学。2018年3月に同校を卒業後、医療従事者を目指して同年4月、県立衛生福祉大学臨床検査学科に入学。2020年3月に同校を卒業。国際医療福祉大学塩谷病院検査室に勤務後、現在は民間病院に勤める。臨床検査技師国家資格を持つ。

## 皆様のご支援で叶った夢に 医療で恩返しできるよう努力

小さいころ、入院した経験があり、そこで出会った優しい医師に憧れ、医療従事者を目指しました。臨床検査技師の私が、患者さんと接するのは検査中の短い時間ですが、言葉がけなどで不安な気持ちを少しでも和らげられるよう心がけています。輸血が専門分野ですが、さらに知識を深めるため認定資格にチャレンジしようと思っています。日々進化する医療に遅れないように勉強し、最終的には輸血だけでなく

他の分野も対応できるオールマイティーな技師になることが目標です。

給付型の奨学金は家計が厳しかった私にとって、とても魅力的でした。下野奨学会の支援があったからこそ、不自由なく学業に取り組むことができ、夢を叶えることができました。皆様からのご支援は本当に心強く、感謝の気持ちでいっぱいです。医療という形で皆様に恩返ししたいと思います。後輩の皆さんも、大変なこともあると思いますが、たくさんの方に支えていただいていることを忘れず、目標に向かって頑張ってもらいたいと思います。



検査にあたる古池さん



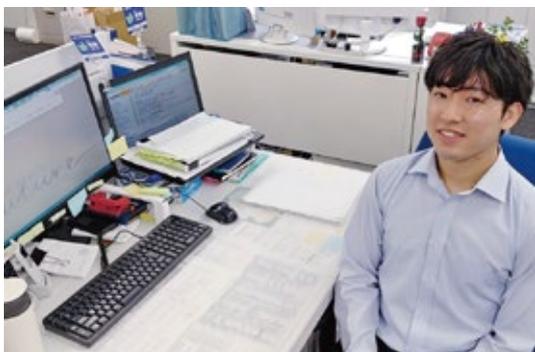
第58期奨学生

関電工北関東・  
北信越営業本部  
栃木支店営業部

小館 誠 さん

[こだて・まこと]

1999年、宇都宮市生まれ。宇都宮市立陽西中学校から  
県立宇都宮商業高校へ入学。高校時代は陸上競技の部  
活動に打ち込み、長距離ややり投げの選手などとして活  
躍。また、基本情報技術者に合格したほか、日商簿記3級、  
全商簿記実務検定1級をはじめとする「全商6冠」の資格  
を取得。2018年、関電工に入社し現職。



関電工の職場での小館さん

## 事務局からの激励の手紙に感謝 姉と2人で恩返しをしたい

姉が下野奨学生でしたので奨学金は知っていました。  
母子家庭だったので返済の必要がないのは大変助かりま  
した。高校では届けを出せばアルバイトができたので、  
母を助けるためにコンビニや居酒屋などで働きました。  
一方、部活で陸上競技を続けており、アルバイト、勉強、  
部活を同時に続けるのは本当に大変でした。奨学会事務  
局に提出する近況報告に悩みを率直に書いたところ、心  
のこもった返事をいただきとても励まされました。

大学進学も考えましたが、アルバイトの経験でお金  
を稼ぐ苦勞が身にしみて分かりましたので、少しでも  
母を助けたくて就職を決めました。関電工は東日本大  
震災の時、危険を顧みず復旧にあたったという話を聞き、  
社会貢献できるのではないかとも思いました。働く  
ようになり、母も趣味に充てる時間ができたようで、  
少しは親孝行ができたかなと思います。姉と2人で恩  
返しができればと思っています。



第65期奨学生

宇都宮大学  
共同教育学部1年生

田中 真衣 さん

[たなか・まい]

2006年、宇都宮市生まれ。宇都宮市立星が丘中  
学校を卒業し、県立宇都宮女子高校に入学。高校では  
部活動の英語部のほか、校内合唱コンクールのピア  
ノ伴奏者などとして活躍。2025年4月、宇都宮大  
学共同教育学部へ入学。人文社会系国語分野で学  
んでいる。

を送ることができました。在校中は毎月、下野奨学会事務局から手書き  
のお便りが届き、とても励まされました。

寄付をしていただいた方々には心から感謝しています。奨学金がなけ  
れば大学進学はかなわなかったかもしれません。同じような状況におか  
れている人たちにも、奨学金という道があることを知ってもらい、夢を  
諦めることがないよう伝えたいです。

大学でしっかりと勉強し、立派な教師となることが、支えていただ  
いた皆さまへの一番の恩返しになると思いますので、一生懸命頑張ってい  
きます。

## 大学進学に導いてくれた奨学金 恩返しは立派な教師になること

一人親家庭でしたので、少しでも母の手助けになればと下  
野奨学金に応募しました。塾に通わずに大学を受験しました  
ので、足りない部分を参考書で補う必要があり、奨学金はと  
ても助かりました。特に返還の必要がない給付型だったのが  
ありがたかったです。

高校時代は部活の英語部での  
活動や合唱コンクールで伴奏を  
務めるなど、充実した学校生活



勉強に励む田中さん

## 特別奨学金について

下野奨学会は2014年4月、特別奨学金を新設、奨学生への奨学金給付事業をさらに拡充しました。特別奨学金には、寄付者の名前を冠した3基金が設置されており、下野奨学生に対し高校入学時と卒業時に奨学金を給付しています。各基金に浄財を寄付していただいた方々に、下野奨学会への期待を伺いました。

### 栃木トヨタ自動車基金

栃木トヨタ自動車(株)  
代表取締役社長



新井 孝則 さん

弊社の社長を務めていた新井祥夫(故人)が、下野奨学会への寄付を続けており、同時に同奨学会の評議員を務めておりました。その遺志を受け継ぎ、その想いをいつまでも絶やす

ことのない寄付のあり方を模索していたところ、特別奨学金としてご対応いただき、「栃木トヨタ自動車基金」を設立いたしました。ご尽力いただきました理事長はじめ、事務局のみなさまには心より感謝申し上げます。

奨学生のみなさまには、充実した高校生活を送っていただき、いずれは何らかの形で地元へ貢献できる人材になっていただけることを願っています。そして、そのことに当社が少しでもお役に立てれば幸いです。

### 増山瑞比古基金

ランスタッド(株)  
名誉会長



増山 律子 さん

私は、一人でも多くのお子様、夢を叶えられる様、そして、日本の将来を担う高校生・高専生を微力ながらご支援させて頂ければとの思いで、増山瑞比古(故人)と共に基金を申し出させて頂きま

した。

その様なご縁から、下野奨学会のご報告を毎年お聞きする度に、奨学生の皆様が、それぞれの夢に向かって、たくましく成長されておりますことを知りまして、毎年、大変うれしく、励まされております。

助け合うことが当たり前になって、子供たちがのびのびと勉強できる社会になってほしい。そうした子供たちの中から、より良い日本を作ってくれる人材が、多く育ってくれることを切に願っております。

### 松本典文基金

北関東産業(株)  
代表取締役



松本 典文 さん

私が下野奨学会の特別奨学金に寄付したのは、地元、栃木県を拠点に長らく商売をさせていただいたことで、恩返しをしたかったからです。

私自身、特に高校教育の充実や文化振興には強い関心がありまして、母校、宇都宮高校の校舎整備にも協力させていただきました。

だれでも希望する高校に進学し、そこで勉強やスポーツ、部活に励み、親友を見つけられるなら、この上なく素晴らしいことです。そうした機会を1人でも多く提供できるよう、下野奨学会には公益法人として事業を推進してほしい、と願っています。そのために、私の基金がお役にたてるなら大変うれしいことです。

## 下野奨学会を支える 寄付者からのメッセージ



マニー(株)名誉特別顧問  
**松谷 正光**さん

能力ややる気があっても経済的に恵まれないために、高校への進学が厳しい子どもが多くなっていると聞きます。下野新聞社がそうした子どもたちの支援をしていることを知って、将来ある人材を助けたいと思って寄付を始めました。

私が大学に入学した時は、親がマニー(株)の前身の松谷製作所を創業したばかりのころで、家計は苦しく奨学金とアルバイトで学んだ経験があります。卒業して会社経営に参加してからも資金繰りに苦勞し、県の補助金をはじめ、多くの人に助けていただきました。寄付にはその恩返しの意味もあります。決して縛りつけるつもりはありませんが、奨学生の皆さんには社会に出たらぜひ支える側に回ってほしいと思います。



吉田税理士事務所所長  
**吉田 健一郎**さん

令和2年に那須町で税理士事務所を開業させていただきました。全くゆかりのなかった土地で仕事ができているのは、地元の人たちのおかげと心から感謝しています。そうしたご支援への恩返しの気持ちを込め、開業後間もなく下野奨学会への寄付を始めました。寄付は毎週、一般奨学金と交通遺児奨学金に行っていますが、事務所が続く限り取り組んでいくつもりです。私自身、働きながら学校に通った経験があります。奨学生の皆さんもご苦勞が多いとは思いますが、少しでも心にゆとりを持って、楽しい高校生活を送ってもらうことを期待しています。また、向学心のある皆さんの中から、資格試験に挑戦し税理士を目指す人が出てくれることを願っています。



小花塗装(株)代表取締役  
**小花 伸子**さん

祖父の代から続く塗装業を営んでおり、多くの人たちに支えられてここまで来ることができました。企業が利益を追求するのは当然ですが、同時に地域社会にその利益を還元していかなければと思っています。下野奨学会への寄付を始めたのは、「お互い様」の精神で、少しでも社会のお役に立てればとの思いからです。中でも、自分の責任ではない事情で、将来の選択肢が狭められそうな若者を支援したいと考えました。ハチドリが小さな口に含んだ「ひとしずく」で、大きな山火事に立ち向かう物語がありますが、寄付がそうした1滴になることを願っています。奨学生の皆さんには、将来、何らかの形で社会に貢献してくださる人になってくれるよう期待しています。



ボランティア団体「えんゆう会」代表  
**中川 今日子**さん

何か社会のお役に立ちたいと思い、2009年12月にボランティア団体「えんゆう会」を立ち上げました。経営する「パブ明日香」のお客様や友人たちに協力していただき、会費のほか、宮まつりや他の催しのお手伝いなどを活用していろいろな活動に取り組んでいます。下野奨学会への寄付は会の発足後、間もなく始め、毎年10万円を届けてきました。会の活動目的のひとつに「子供達の夢を叶えるための応援をする」ことを掲げていますので、その一環です。奨学生だった高校生が卒業後に書いた作文を読ませていただき、頑張る姿に感激しました。教育はすべての基本です。意欲のある子どもたちをみんなで支えていくことが大切だと思います。



邦和理工(株)名誉会長  
**片山 重磨**さん

おかげ様で令和元年6月で50周年を迎えることができました。これもひとえに地域の皆様をはじめ多くの方々のお力添えによるものと心から感謝申し上げます。常々、現在こうしていただけることへの恩返し何かできないかと考える中で、将来を担う若者たちが困ることなく十分な教育を受けていくことが必須と思い、自分にできる方法を思いつきました。現在在職している社員一人一人も何かその一端に参加できるようにと、ささやかではありますが、わが社の親睦会から生涯の大きな思い出のできる高校生活にお手伝いをさせていただくことにしました。今の自分たちがいることへの感謝の気持ちを忘れることなく、この支援が長く続けていければ幸いです。

# 公益財団法人 下野奨学会へのご寄付のお願い

下野奨学会は、成績優秀で家庭の経済状況が特に厳しい高校生及び国立高等専門学校1～3年生に返済不要の奨学金を給付しています。栃木県の人材育成のため、皆様の浄財をご寄付ください。

## 下野奨学会 5つの特徴

- 1 寄付された方全員のお名前と寄付額が下野新聞に掲載されます。
- 2 高額寄付はニュースとして下野新聞に掲載されます。
- 3 個人の2,000円以上の寄付は、確定申告をすれば、所得税の税額控除または、所得控除の対象となります。
- 4 企業など法人の寄付は一定額が法人税の損金に算入されます。
- 5 特別奨学金が2014年4月に創設され、一定額以上の寄付をすれば基金を設置でき、基金に寄付者のお名前を付けられます。

## 税制上の優遇について

公益財団法人下野奨学会は税制上の特定公益増進法人に位置づけられ、下野奨学会への寄付金は税制上の優遇措置が受けられます。

### (1) 個人の寄付(所得税)

その年(暦年)の公益財団法人下野奨学会に対する寄付は、その合計額が2,000円を超えれば確定申告により優遇措置が適用されます。確定申告の際に「所得控除」が「税額控除」を選択できます。

- ①「**所得控除**」…所得控除を行った後に税額を掛けるため、所得や税率が高い寄付者に減税効果が大きい制度です。
- ②「**税額控除**」…行政庁の証明を受けた公益法人に対する寄付金は税額控除も適用されます。下野奨学会は2012年12月26日付で行政庁の栃木県から、その証明を受けました。税額控除は税額を算出した後に、税率に関係なく、税額から寄付金額を控除するため、小口の寄付でも減税効果が大きい制度です。

※**お手続き**……控除を受けるには、確定申告の際に「所得控除」が「税額控除」のどちらかを選択したうえ、下野奨学会が発行する領収書を添付し、税務署に申告してください。「税額控除」を選択される場合は、栃木県が下野奨学会に交付した「税額控除に係る証明書」も合わせて添付してください。同証明書は下野奨学会ホームページに掲載してありますので、それをダウンロードしてください。

### (2) 法人の寄付(法人税)

法人の寄付は所得や資本金額などから算出される一定額を限度に、損金に算入できます。損金算入の分だけ、課税対象額が減ります。

## ご寄付の手続きについて

### ● 取り扱い窓口

下野奨学会へのご寄付は、宇都宮市昭和1-8-11の下野新聞社本社のほか、栃木県内の下野新聞総局・支局で受け付けています。

### ● 寄付の方法 現金持参または銀行振込に限らせていただきます。

- (1) 寄付金を直接、下野新聞社本社・総局・支局の取り扱い窓口にご持参ください。
- (2) 銀行振込の場合、事務局にお電話をいただければ、手数料がかからない専用振込用紙(足利銀行指定口座専用)を送付します。その専用振込用紙で足利銀行本店・支店から指定口座にご送金いただければ、振込手数料は無料です。

### ● 下野新聞へのご寄付者名掲載

寄付されたすべての個人、法人のお名前と寄付額を毎週月曜付の下野新聞に掲載しています。新聞休刊日などにより、掲載日が変わることがあります。あらかじめご了承ください。



公益財団法人 下野奨学会

事務局/〒320-8686 栃木県宇都宮市昭和1丁目8番11号 下野新聞社内  
電話(028)625-1565(直) FAX(028)625-1136 ホームページ「下野新聞 digital」 <https://www.shimotsuke.co.jp/>